

ナルクさんに

インタビューしました

広報委員会委員長 高橋英人

過去に本誌『なごみ』でも紹介させて頂きましたが、ナルクさんの正式名称はニッポン・アクティブライフ・クラブで時間預託によるボランティアを活動の柱としたNPO法人です。今回は、毎週月曜日の喫茶でお馴染みのナルクさんの内、宝塚・川西支部代表平塚様、メンバーの近藤様、藤井様にご協力頂き、インタビューと題して色々なお話を伺いました。

Q 宝塚ちどりでのこれまでの活動において、印象に残っているエピソードや、普段感じられていることがあればお聞かせ下さい。

A 宝塚ちどりで喫茶ボランティアを始めて四年目になります。毎回来て下さる方もいて、こちらの顔も憶えて頂いている

のが嬉しく思います。メンバーにとってはお年寄りとの接点や、関わりの持てる楽しくて貴重な時間です。また、満足度を高めるために、メンバー間で連絡ノートを用いて、

利用者さんのケーキのお好みの情報を共有し合っています。

Q ナルクさんは幅広い活動をされていると伺っていますが、具体的にどのような活動をされているのでしょうか。

A 個人でできることから、グループでできることまで、活動内容は様々です。今ではメンバーでフラダンスやウクレレを練習して披露したりしています。活動を行うことでポイントを貰えるので、自分が困った時のために使えるように貯めたりしています。また、人のためになって、自分もお楽しみすることが大切だと思います。

Q これからの活動 宝塚ちどり含

め)において目標や展望があればお聞かせ下さい。

A 宝塚ちどりでは歌やウクレレの披露、また新しいこととしては、手芸を一緒にできたらいいなと思っています。

ナルクの会員は平均七十歳で、若い世代のメンバーがもっと増えてほしいなと思っています。そうすればさらに様々な活動を行うことができると思います。

Q 是非、館内のユニットにお越し頂き、音楽を披露して頂くようお願い致します。

A これまではデイルームでの披露だったので、それもいいかもしれませんが。新しいことを始めて利用者さんが楽しんで頂くことが嬉しいですね。

インタビューを終えて

ここでは紹介しきれなかったお話もたくさん伺いましたが、インタビューを通して一番印象に残ったのは、メンバーそれぞれの方が楽しんで活動しておられるということです。



私達も施設での介護という仕事を楽しんでやる事が、ご利用者の笑顔へと繋がるのだろうと思います。

このたびは、貴重なご意見ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いします。

(写真は左から平塚様・近藤様・藤井様です)



ユニット便り

逆瀬川・星の荘ユニット

六月、二日間に渡り、外食行事として回転寿司を食べに行きました

久しぶりの外食とあって、とてもよく召し上がっておられました。「マグロもう一個」や「次はウニがええ」等、リクエストの声も聞かれ、食後のデ

ザートも「おいしいなあ」と満足された表情が見られました。多い方は十皿も食べられ、「また来たい。ありがとう」と、とても好評でした。(高橋)

グループホーム

五月に春の遠足を開催し、当日は体調不良等で参加出来なかったご利用者を対象に、第二弾の遠足行事として、三田の『人と自然の博物館』に行ってきました。

皆様、恐竜やマンモスの化石の資料等を興味深く見ておられました。また、昼食は、事前に伺ったご希望に沿い、回転寿司を食べました。初めて回転寿司に来たと仰るご利用者や、普段以上に沢山召し上がる方もおられ、楽しく食事をしてく頂くことができました。食後はショッピングセンターで面白い物もしました。沢山の商品にど



れを買おうか迷っている方、広いショッピングセンターに関心される方等、ご利用者のいろいろな反応を見ることが出来ました。

八月七日(土)には、シティ逆瀬川自治会よりご招待頂いた夏祭りに参加しました。

会場では、おでんや焼きそばを選ばれ、夏の夕暮れを楽しんで頂きました。(河本)



委員会報告

広報委員会

七月五日(月)開催

定例会議では、各ユニットや部署での取り組みや、レクリエーション等の情報交換が出来る掲示物について話し合いました。これまでは職員通用品での掲示でしたが、これからはご利用者・ご家族にも見て頂けるよ



う、エレベータ横に掲示板を設置することになりました。近々設置致しますので、お越しの際は是非ご覧下さい。(高橋)

研修委員会

六月十五日(火)と七月六日(火)に、神戸市北区にある介護老人保健施設『青い空の郷』へ施設見学に行きました。

見学先では、ご利用者・ご家族への関わり方、地域交流・ボランティア活動、緊急時の対応、防災対策、環境作りへの取り組み・工夫点等を伺い、双方の情報交換を行いました。施設案内・質疑応答を参考に、学んだことを業務に活かしていきたいと思えます。(宍田)

サービス向上委員会

七月九日(金)開催

サービス向上委員会では、現在使用している『生活状況票』について、各ユニットでの使用状況を聞き取り、見直しを行

いました。ケアプランの内容を少しでも生活状況票に反映できるように、サービス向上委員が適宜チェックを行うよう呼びかけました。

言葉遣いについては、見直し週間に導入していますが、五月度に実施した『ちょっと待って!』の言葉に意識を高めよう」という課題に、まだ意識が薄いという意見が上がり、八月度も再度実施することを決定しました。

カラオケ喫茶については、七月二日(金)に行い、ご利用者からの盛況も上がり、八月も実施する方向で検討しています。

ISO14001(環境改善)の取り組みに対しては、ご利用者からの意見等は見られませんが、気温の上昇もあり、ご利用者の快適空間を確保するべく、室温調整を行うよう伝えました。(吉原)



地域交流委員会

くらくら介護体験

七月十三日(火)に、ボランティアグループのチェリーさんを対象に「くらくら介護体験」を行いました。今回のテーマは衣類の着脱と、ベッドや布団からの起き上がりについて、体験していただきました。

今回も十三名の参加があり、皆様とても熱心に体験をして頂きました。中には、初回時から欠席されることなく参加されている方もおられ、皆さんにとって介護が身近な



出来事になっていく事を改めて感じる事が出来ました。これからも施設の持つ機能性を活かし、地域に貢献できる活動として、継続的に取り組みたいと思います。(小林)

オンラインスマン六か月ミーティング 五月二十五日)の指摘を受けて

・良い笑顔の利用者が多いが、一部の利用者を除いてホールでじっとしておられる方が時に目に付く。(テレビはついてるが、見ている様子も無く、何もしないでじっとしている方等)というご意見を踏まえ、リーダー、サブリーダーが集まって話をしました。

※ご利用者の好きなビデオを準備する。(人気のあるビデオは、ドリフターズ、美空ひばり等)
※歌が好きな人が多いので、テレビよりむしろ歌を一緒に歌う時間を増やしている

※スタッフがリビングにいる時は、できるだけ会話をする

※体調や体力を考えて、一旦居室で横になって頂く。(居室では落ち着かないが、みんながいるリビングだと安心してウトウトする方もいる)

※ご利用者自身が興味のあることができるように、多様な素材を準備

しておく、気分が良い時に、できるようにしておく。(用紙・色紙・楽器・歌詩カード・筆記用具・パズル・本・ゲーム・習字道具等々)

※気分転換に庭や屋上、近所の散歩等随時取り入れる

といった意見が挙がりました。

午前中は入浴される方が多く、浴室での介助と、リビングにいるスタッフが排泄等のナースコールで居室にて介助していると、リビングにスタッフが少なくなります。また、申し送り等でスタッフ同士が会話している姿も目立っています。スタッフ同士の雑談は、当然慎むべきことですが、ご利用者の視線を常に意識し、自身の行動を振り返ってみることが必要だと思えます。一人でも、退屈しないで過ごせる工夫が必要です。そのための日頃の情報収集と準備を行っていくことが必要だと思えます。



敬老祝賀会のお知らせ

平成二十二年九月十二日(日)敬老祝賀会を開催いたします。本年度も午後二時からテイルームで行います。喜寿、米寿、白寿、百歳以上の方を表彰するとともに記念品をお渡しして、お祝の催しを楽しみたいと考えています。今年もボランティアの方々によるバンドやお琴の演奏を予定しておりますので、お楽しみ下さい。ご多忙とは存知しますが、ご家族の皆様もご参加頂ければ幸いです。なお当日お越しのご家族は、駐車場のスペースに限りがございますので、お車でのご来場はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

|| 編集後記 ||

夏も本番になり、施設の屋上からも宝塚花火大会の花火が見えました。今年も数名のご利用者が見学され、「たまや」と声をあげておられる嬉しそうな表情が印象に残りました。(目加田)

